



第23回 全国棚田 千枚田 サミット

「棚田は21世紀の社交場」 ～棚田で出会う、触れ合う、分かち合う～

広報
おたり

おたり

2018
10月
No.506



全国棚田 (千枚田) サミット

(写真:上) 長崎県波佐見町から小谷村へ

(写真:下) 小谷村から山口県長門市へ



👉 主な内容

広報

館報

- 第24回全国棚田(千枚田)サミット開催 2、3
- 平成29年度決算報告 4、5
- 「信州小谷村」ふるさと応援寄附金
受け入れ状況及び充当事業のご紹介 6
- 白馬高校レポートチャンネル 10

- 「白馬つがいけ WOW！」にチャレンジしてきました .. 12
- 真木だより 水車製材をはじめます 13
- 8月15日成人式開催 二十歳への思いを胸に 14
- 農業女子の「伊折暮らし」ノート⑤ 15

第24回 全国棚田(千枚田) サミット開催

『集う』仲間と『守る』くらし 北アルプスの水と土で育む棚田の絆

9月8日(土)～9日(日)の2日間、「第24回 全国棚田千枚田サミット」が梅池社会体育館を主会場に、約650名が全国から参加し盛大に開催されました。あいにくの雨でしたが、「農地を守ろう」という意思のある方々の熱意により、有意義なイベントとなりました。

オープニング



小谷小学校の合唱団の皆さんが、素晴らしい歌声で参加者を歓迎しました。「信濃の国」と「ふるさと」の2曲を映像とともに熱唱していただき、オープニングから大きな歓声に包まれました。

ディスカッション

「これからの農業を考える！ 山間地農業の共存の在り方」

くしをテーマに、信州大学の内川先生、東京農業大学の武生たきゅう先生、松本村長のディスカッションが行われました。小谷村の実情を村長が紹介したのち、「農地を守るには、水路や農道を整備しなければ」と内川先生が言えば、「付加価値をつけていく農業にする必要がある」とそれぞれの立場で、山間地農業の方向性を議論しました。



分科会

8つの会場に分かれそれぞれのテーマで分科会を行いました。農業と女性、農業と食、農業と観光など各会場でテーマに合わせた講演やトークが行われました。

第1分科会

《テーマ》中山間地の過疎を救う 住農業女子が集まる魅力、伊折の藤原真弓さん、福永朋子さんらによる女性から見た農業を紹介していただきました。



第3分科会

《テーマ》小谷村の暮らしから見る 食と農

第6分科会



《テーマ》棚田守りびとミーティング 棚田はどのように守るのか、「棚田」のことは創設者ともいわれる早稲田大学名誉教授 中島先生は、全国の棚田保全団体の活動を検証。全国の保全団体の方たちと意見交換を行いました。

第8分科会



《テーマ》自然の中で支えあう姿 真木集落「アラヤシキの住人たち」のいま

小谷で撮影された「アラヤシキの住人たち」の本橋映画監督や信州共働学舎の宮嶋さんら映像を見ながら、真木での生活についてトークされました。



農村文化協会の池田玲子さんは、箱膳から伝えたい文化をお話しいただきました。



交流会

信州小谷太鼓で、交流会の幕が開きます。子供たちも踊って参加者を大歓迎してくれました。



小谷村のおもてなしブース。かつては多くの小谷杜氏を輩出した酒蔵（薄井商店・北安醸造）から、地酒が提供されました。また、小谷のどぶろく、野豚の生ハム、小谷ソバ、タケノコ汁やなめこ汁、山菜の天ぷらなど、小谷の味を提供し参加者におもてなしをしました。



観光ツアー

2日目は観光ツアーを企画しました。雨天にも関わらずキャンセルはほとんどなく、270名を超える方が参加していただきました。「何も見えないけど、大雨のツアーであることが印象的だった」という声も聞かれました。

雨の中の砂防ダムツアー



ソバ打ちを体験する参加者



閉会式



全国から多くの方が、この小谷村の棚田サミットへ参加して頂きました。

閉会式では、小谷村農業委員かつ認定農業者でもある 深澤 勉さんが、「農地を守る宣言」を行いました。深澤さんの掛け声のもと、会場全体で「農地を守ろう！」と大きな声で全参加者が三唱しました。

2日間の日程で開催された全国棚田サミット。記念すべき第25回サミットは山口県長門市で開催されます。

小谷村から山口県長門市へ全国棚田連絡協議会の旗が引き継がれ、サミットの幕が閉じられました。

テントブース

雨の中、屋外会場には、多くの出展者の皆様のご協力によりサミットを盛り上げてくれました。



農地を守る宣言



お礼のお手紙を頂きました

先日の棚田サミットに際しましては、小谷村の皆様方には雨の中大変暖かくお出迎えを頂き有難うございました。オープニングの合唱や、交流会の小谷太鼓では子供たちの歌や演奏、そして生き生きとした表情に感動し涙ぐんでしまいました。松本村長を筆頭に村民の方々のご意気込みを感じ素晴らしい棚田サミットでした。

中山間地はどこでも同じ悩みを抱えています。共に共有し打開策を討議しお互いに頑張りましょう。本当にお世話になりました。ぜひ観光で訪れたいと思います。

佐賀県唐津市相知町

葎野棚田保全会

会長 百武 兵衛

このサミットに際し、多くの村民の方からご協力を頂きました。サミット前に田んぼ畔を草刈りして頂いたこと、「ようこそ小谷村へ」などちょっとした心配りして頂いたことなど、村民を含めて多くの方のご配慮に感謝申し上げます。



平成29年度 決算報告



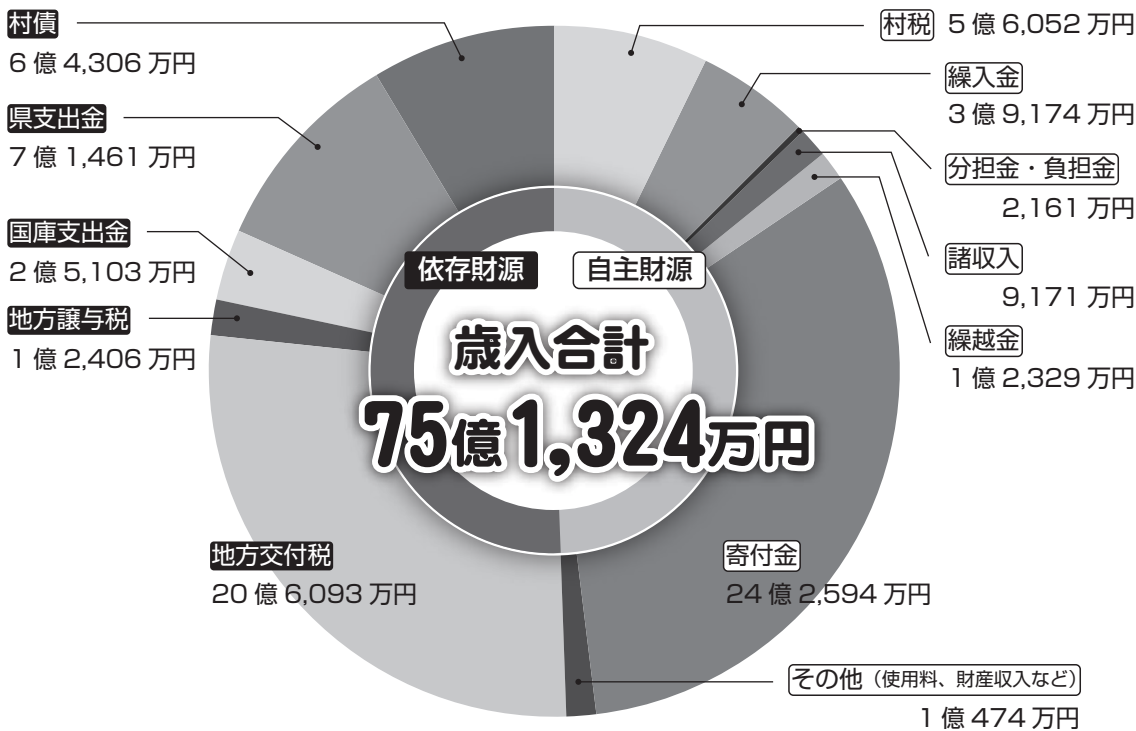
平成29年度決算がまとまり、9月定例議会で認定されました。村では皆様に納めていただいた税金や、国や県の補助金等を有効に活用しながら様々な事業を行っています。昨年度はどのような財源をもとに、どのようなお金の使い方をしたのか、決算状況についてお知らせします。

歳入

村税の徴収率は国民健康保険税を除き前年比5・5%上昇し、80・5%となるほか、特別交付税につきましては、地域おこし企業人プログラムの活用等により468万円（1・3%）の増となりました。国庫支出金については、災害復旧関連事業の減少、村道・橋りょう等の改良事業の実施と通常施設維持管理に近づくことで3億1,123万円（△55・4%）の減少、地方債については3,054万円（5・0%）の増となりました。

- 村 税**：住民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税など
- 繰入金**：基金を取り崩し充当させたもの・特別会計からの繰入
- 分担金及び負担金**：事業を受けることにより利益を受ける人が負担するお金（保育料など）
- 諸収入**：他の項目に含まれない収入（貸付金償還金など）
- 寄付金**：ふるさと応援寄付など
- 地方交付税**：地方公共団体が等しく事務を行えるよう一定の基準により国から交付されるお金
- 地方譲与税**：国税として徴収し、そのまま地方公共団体に譲与する税
- 国庫支出金**：特定の事業に対し国から交付されるお金
- 県支出金**：特定の事業に対し県から交付されるお金
- 村債**：資金調達のための借金

村民1人あたりに換算した村税負担額
 ≒ **19.0万円** (H30.3.31 現在人口 2,945人で算出)

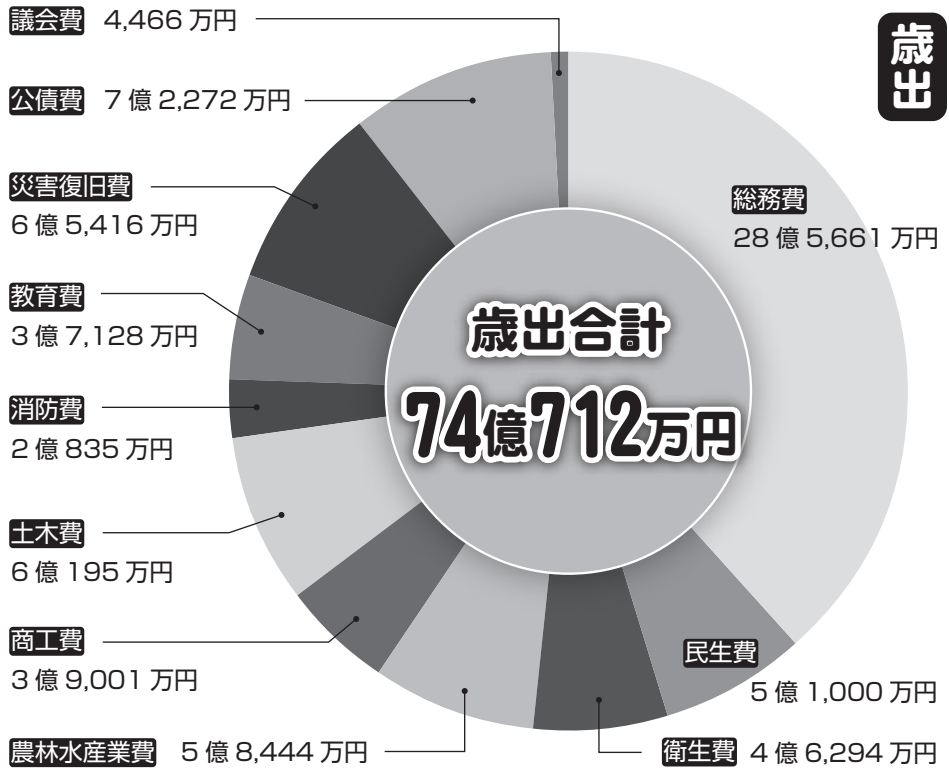


小谷村の財政健全化判断比率等の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」においては、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するものとして、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の四つの財政指標が健全化判断比率として規定されています。地方公共団体は、毎年度、前年度の決算に基づき健全化判断比率をその算定資料とともに監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表しなければならぬとされています。

小谷村の平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業会計にかかる資金不足比率の算定結果(暫定値)は次のとおりです。

歳出



* 村債は単なる借金ではなく、毎年の負担を平均にするなど財政運用上重要な役割を果たしています。

村債の残高 = 55億5,436万円

H30.3.31 現在人口
2,945人で算出

村民1人あたりの借入金 ÷ 189万円

平成29年度小谷村一般会計決算は、平成28年度からの明許繰越額6,004万円を含む歳入総額75億1,324万円、歳出総額74億7,122千円となり、それぞれ前年度と比較しますと、歳入では2.3%、歳出では2.1%の減額となっております。これは神城断層地震の早期復興を目指した水路災害復旧工事等災害復旧工事の収束、旭避難所の建設工事、柵池自然園ビクターセンター等の大型建築工事が終了したことに加えて、ふるさと応援寄付事業の返戻率を平成29年7月に5割から3割に下げたことによる寄附金額の減少があります。寄付額は、24億2,494万円となり、返礼品の購入や基金への積立事業を実施しています。

ふるさと応援寄付に対する返礼品購入や臨時職員に対する賃金・業務の電算化や事業委託費等を実施し、物件費が前年度より1億2,417万円減の19億5,246万円、村道・林道改良事業やノルディックコース陸橋補修工事、旧保育園解体工事等を実施し、普通建設事業費が前年度より177万円減の6億9,533万円、災害復旧事業費は神城断層地震の災害復旧事業等を実施し、2億5,400万円増の6億5,416万円、積立金については、ふるさと応援寄付金が主なもので、前年度より4億6,927万円減の12億3,504万円となっております。公債費(起債元利償還金)は7億2,272万円であり、村債の年度末現在高は、過疎対策事業債や臨時財政対策債など交付税措置のあるものがほとんどですが56億円に及んでいます。除雪等の維持補修費は、まとまった降雪等の気象状況から前年比7.7%増の3億2,084万円、人件費は職員の定期昇給や産休・育児休暇職員等から、対前年度比1.0%増の6億3,386万円となっております。

目的別歳出の主な内容

- 総務費**：村の全般的な管理、企画や選挙、戸籍、住民窓口事務、ふるさと応援寄付等の経費
- 民生費**：高齢者・障がい者・児童の福祉などの経費
- 衛生費**：ゴミ処理や環境保全、検診・健康づくりなどの経費
- 農林水産業費**：農林業の振興や土地改良費
- 観光商工費**：観光振興などの経費
- 土木費**：道路建設・維持などの経費
- 教育費**：学校管理運営・公民館活動などの経費
- 公債費**：借り入れた村債の元利償還金などの経費
- 災害復旧費**：豪雨災害・神城断層地震の復旧事業などの経費

健全化判断比率

()は早期健全化基準

① 実質赤字比率

該当なし(15.00%)

* 一般会計等の実質赤字額

② 連結実質赤字比率

該当なし(20.00%)

* 一般会計と特別会計を含めた赤字額

③ 実質公債費比率

12.0%(25.0%)

* 一般会計と特別会計に、一部事務組合や広域連合への負担金等を含めた起債償還

等債務負担の比率

④ 将来負担比率

該当なし(350.0%)

* ①③に加えて、地方債の残高に今後見込まれる特別

会計への支出、組合や退職手当等の負担を含めた割合

公営企業に係る

資金不足比率

簡易水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業の三つの特別会計が対象となりますが、いずれも資金不足には該当しません。

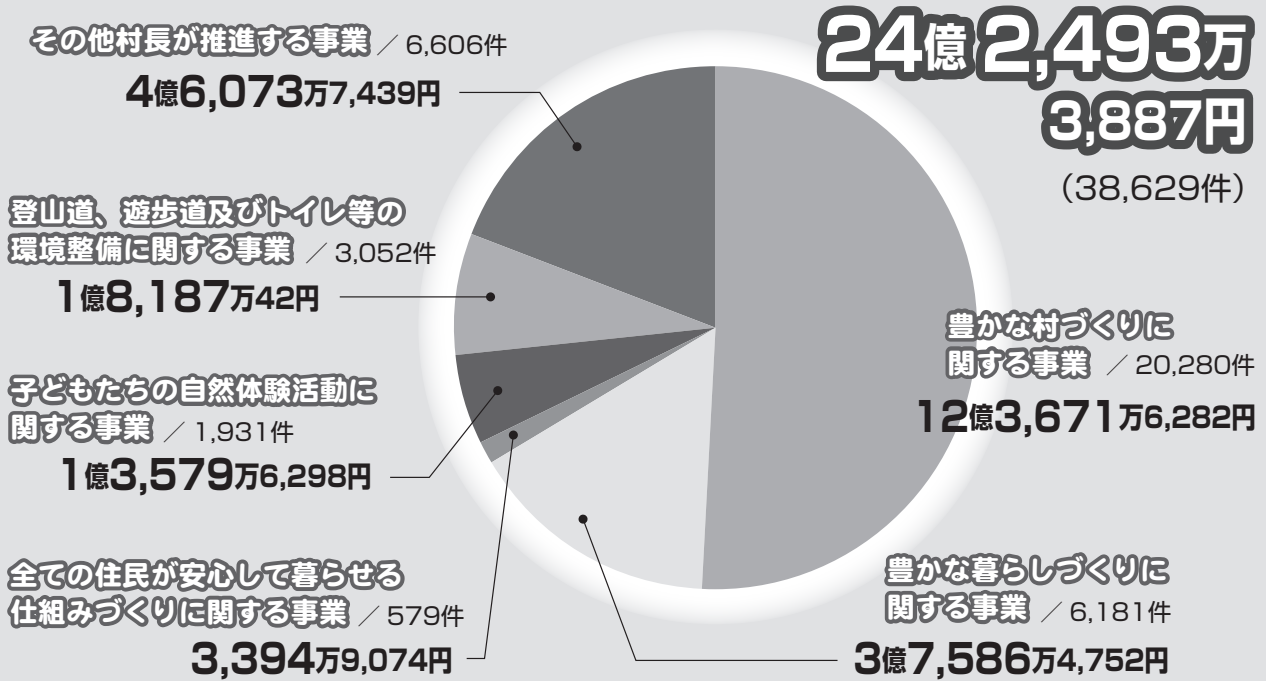
「信州小谷村」ふるさと応援寄附金 受け入れ状況及び充当事業のご紹介



平成29年度 ふるさと応援寄附金の受け入れ状況

多くの寄附をいただきありがとうございます。寄附金は、小谷村をよりよくする各事業に大切にに使わせていただきます。

注) いただいた寄附金は一旦基金に積み立て、翌年度以降の該当事業に充当させていただきます。



平成29年度 充当事業 (抜粋)

村内中学校タブレット等整備事業 …………… 事業費：1,941万9千円
(充当額1,940万円)



ICTを利用した教育の必要性が高まる中、従来のパソコン授業だけでなく、その他の授業でも使用できるようタブレット端末とし、学校に整備したWi-Fiを利用して、「気になったことはその場で調べる」を実践しています。

セキュリティ面を強化し、安心して授業に取り組めるよう設計しております。

事業名	主な内容	充当額
教育・子育て関連事業	中学校タブレット等整備、保育園遊具設置	7,730万円
観光振興事業	柵池自然園木道整備、ビジターセンター改修	6,990万円
生活基盤整備事業	避難所非常食整備、千国駅トイレ新築	4,110万円
産業振興事業	自然エネルギー活用調査、農業振興支援	2,428万円
移住・定住事業	移住定住促進拠点整備、ファンミーティング	1,000万円

長寿お祝い

今年度、1人の方が100歳をお迎えになり、村長が訪問し、内閣総理大臣・長野県知事・小谷村からの表彰状と記念品を贈呈しました。

また、9月18日に平成30年度小谷村敬老会をホテルグリーンプラザ白馬で開催し、75歳以上の180名余が参加し、米寿28名、喜寿45名の方も祝いしました。これからもお元気でお過ごしください。



祝 百歳

津田 久子さん (下里瀬)
大正7年8月5日生

宝くじ助成金により 消防団活動備品を購入整備しました

公益財団法人長野県市町村振興協会が実施している市町村振興くじ(サマージャンボ)の収益を財源としている、地域活動助成事業を活用し消防

団活動備品を購入整備しました。小谷村消防団に配備し林野火災や人命救助等に役立ててまいります。



背負い式消火器 (バルファーストVF10個)



レスキューセット (6セット)



救護班活動用救護バック (エイドベルト15個)



レスキューセット 集納品

高齢者インフルエンザ 予防接種(助成)の お知らせ

村では予防接種法に基づき、高齢者を対象に重症化を防ぐ目的でインフルエンザ予防接種の助成を実施します。

■対象者

村に住所があり、次の(1)または(2)に該当し、予防接種を希望する方

- (1) 接種日現在65歳以上の方
- (2) 接種日現在60〜64歳の方で心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害により身体障害者手帳1級相当の方

■期間

平成30年10月1日〜平成31年3月31日

■費用

1,200円で受けられるのは1回のみ)

※生活保護を受けている方は無料

■実施場所

大北管内の医療機関(事前に電話で確認をしてください)

■お問い合わせ

住民福祉課福祉係
電話82・2582

水質汚濁防止法の届出と自主測定をお願い

旅館業法の営業許可を取得して旅館業（ホテル営業、簡易宿泊所営業を含む）を行う皆さまは、水質汚濁防止法に基づき、次の施設を使用する場合は、北アルプス地域振興局環境課に届出が必要となります。

- ちゅう房施設
- 洗濯施設
- 入浴施設

また、届出した内容に変更が生じた場合（代表者の変更、排水処理の変更、廃業、事業承継など）にも届出が必要です。併せて、排出水の状況によつては、排出水を自主測定する必要があります。

これらの届出が未提出の場合や、自主測定が行われていない場合は、水質汚濁防止法により、罰則が科せられることがあります。このため、未提出の届出がある場合には、必ず提出していただくとともに、排出水の自主測定を行っていただきますよう、お願いいたします。

ご不明な点はお問い合わせください。詳細は、長野県ホー

ムページから「水質汚濁防止法の届出」と検索してください。

■お問い合わせ

〒398-8602

浄化槽保守点検、

浄化槽設置補助事業について

浄化槽は生活環境の保全や公衆衛生の向上を図るとともに、河川等の水質保全に資することを目的としています。

本年度よりすべての浄化槽の法定検査を実施しています。「不適または一部改善を求める。」との結果が多く報告されています。浄化槽法では、適正回数（「保守点検」と年1回以上の「清掃」）が定められています。また、適正な管理が行われていない場合、罰則が科せられる場合もあります。日ごろから浄化槽の正しい使い方に注意して機能を十分に発揮できるように心がけましょう。

なお、浄化槽設置については補助金が交付されます。平成31年4月以降、浄化槽の設

大町市大町1058-2

北アルプス地域振興局環境課

電話23-65663

Eメール kitachi-kanky@

pref.nagano.lg.jp

置を検討されている方は平成30年11月末までに役場建設水道課水道係へ予約をしてください。例年予約をしないで設置を希望される方がいますが、国や県の補助金を使っているため、予約なしで設置した浄化槽への補助はできませんので、必ず予約をお願いします。

金額等の詳細は村HPをご覧ください。

■お問い合わせ
建設水道課水道係
電話82-2583



<http://www.vill.otari.nagano.jp/mura/water/W007H0000004.html>

平成30年度 54ふる企画 「買い物ツアー」について



おたり54プロジェクトでは、住民の皆さんの「あったらいいな」を叶える具体的な取組の一つとして、買い物に不便や不安を感じている方を対象に「買い物ツアー」を実施しています。

お買い物だけでなく、足湯や散策などのちょっとした「寄り道」や、昼食付きのツアーを取り入れるなど皆さんに楽しんでいただける企画を心がけています。ぜひこの機会にご参加ください。

第6回ツアー

■日程 10月24日（水）

■行先 糸魚川市マリンドリーム能生（昼食）、糸魚川市内スーパー等

■対象者 運転免許返納者やご自分で運転しない方など、買い物に不便を感じている方、将来の買い物に不安を感じている方

■対象地域

・大字北小谷地区

・大字中土地区のうち中谷地

■募集人数

15名（先着順）

■参加費 1500円

（昼食付き）

■募集締切 10月17日（水）

なお、定員に達し次第締め切りますのでお早めにお申し込みください。

※移動はマイクロバスで、助手スタッフが同行し、ご自宅まで送迎いたします。

■申し込み・問い合わせ先

役場特産推進室

電話82-2589

地域おこし協力隊員

（村上・佐々木）

集落支援員（宮下）

地域おこし協力隊の おたりと関わる5ステップ

今、地域を元気にできる「第三の人口」として着目されている『関係人口』。地域おこし協力隊員が、小谷の関係人口になるに至った経緯を、「関係人口の5ステップ」を追いながら毎月ひとりで紹介していきます。

今月はこの人！

神林 良

長野県須坂市出身。中野実業高校電気科を卒業後、コンピューター関係企業勤務を経て、厨房機器・設備会社に就職。平成30年4月に農産物加工貯蔵施設整備担当として小谷村の地域おこし協力隊員に着任。



ステップ1 興味をもつ

育ったのは長野県須坂市に

ある住宅街。近所に山や溪流はありませんでしたが、コイヤフナが釣れる川があり、幼い頃から釣りに魅力を感じるように。釣り雑誌などを買って独学で勉強し、高校生になると通学途中、自転車で溪流に寄り道をして、イワナやヤマメを追うほど熱中しました。釣りとお会いしなければ、小谷に足を運ぶこともなかったと思います。

ステップ2 愛着をもつ

初めて就職したのはコンピューター関係企業の長野支社でした。地元長野での就職を楽しみ続けたいと思ったからです。ところが、1年ほどで東京の本社へ異動に。「人生で1度くらいはそのような経験も必要」と前向きにとらえることはできたものの、休みも少なく、趣味に没頭する時間がとれなかったことは、

とてもストレスでした。

その後、長野市に戻り、厨房設備・機器の販売やリースを行う企業に転職します。長野に戻ってきてからは休日近隣の山に登ったり、キャンプをしたり。釣りも、溪流などで出会った釣り人や釣具屋の店員などと情報交換をしながら、いいスポットを見つけるとどんどん行動範囲を広げていきました。その中で、大町、白馬、小谷にも訪れることに。溪流の上流に見える北アルプスの景色を本当に美しいと感じましたし、なにより、釣れる魚も素晴らしかったです。

ステップ3 通う

度々通うなかでふんわりと移住願望が出てきた頃、役場が運営する「小谷村移住ナビ」おたりで暮らす」というWEBサイトをを見つけ、空き家情報や、求人情報を求めて、たまたま覗くようになり、最終的に小谷村の地域おこし協力隊員募集を知ったのも、このサイトがきっかけです。

ステップ4 交流する

前職で県内の様々な加工場とも取引があり、6次産業化に取り組む方々と出会う機会が多くありました。いきいきと自分が生み出す加工品を語る姿を見て、いつかは自分も事業主として特産品開発ができたらいいな、という夢をもつように。「農産物加工貯蔵施設整備担当」の協力隊員は、厨房関係の仕事のキャリアを生かしながら、自分のビジョンにも向き合っていける仕事だと感じています。

ステップ5 拠点をもち

協力隊員として移住を決めたのは、一児の父となり、以前よりも経済的な安定が生活の必須条件となったばかりの頃。不安はもちろん大きかったです。同時に、「自然のなかで子供を育てたい」という気持ちも膨らみ、15年勤めた会社を辞めました。子供が高校生くらいになっても、小谷村に住み続けられる自信は正直半々。農業や特産品開発に取り組んでいきたいと思う反面、それで十分な


収入を確保できるかどうかという問題にはシビアに向き合っていかなければならないと感じています。

お世話になっているあの人からひとこと

細田 栄さん

山菜や蜂を勉強しに来る姿を見ながら、「彼は今のままでは生きていけない…」と心配になりつつ、見守っています。

小谷では1つのことだけではなかなか食っていけないので、色々なことを身に着けられるよう頑張ってください。



これから先のこと

ギョウジャニンニクやウドブキなどは素晴らしい素材なので、なにか特産品に生かせないかと考えています。また、農産物加工貯蔵施設整備の業務の他にも、家族で移住した者としての視点、釣りの愛好家としての視点も忘れずに、小谷村でできることに取り組んでいきたいなと思っています。よろしくお願ひします。



本年度国際観光科 1期生が卒業します



平成 30 年 10 月 5 日
(第 149 号)
TEL 0261 (72)2034(代表)
<http://www.nagano-c.ed.jp/hakubahs/>

HAKUBA HS Report Channel

しろうま祭

【7月6日～8日】

本校の文化祭である「第67回しろうま祭」が開催されました。「彩(いろどり)～輝け一人一人の色～」をテーマに数ヶ月前から準備してきたしろうま祭、大雨のため6日は13時半からの実施となりましたが、生徒たちでスケジュールを組み直し、すべてのイベントを行うことができました。

7日午前の合唱コンクール、7日午後から8日にかけての



合唱コンクール



全校制作

一般公開では、約1200人の方にご来校いただくことができました。これを機会に、地域の皆さまに白馬高校をより身近に感じていただければ幸いです。



八方太鼓



クラス展示

UAE 高校生リーダーとの交流

【7月19日】

アラブ首長国連邦アブダビ首長国より、高校生リーダー50人が来校し2学年の生徒と交流が行われました。初めにアイスブレイキングやUAEの生徒たちによるプレゼンテーション、ダンス披露等が行われました。生徒たちはUAEの生徒に衣服を借りて写真を撮影するなどおち解けた様子でした。次に各教室に分かれ白馬高校や日本の掃除文化を紹介しました。UAEの生徒たちの積極性に助けられつつも、楽しそうに交流を行っていました。日本人にとってはあまり馴染みのない国の生徒との交流で、異文化を感じ各国間での違いを考える機会になりました。



UAEの生徒来校



生徒同士の交流(男子)



生徒同士の交流(女子)

1 学年登山

【7月25・26日】

1学年登山が行われ、白馬岳コース(54人)と白馬大池コース(8人)に分かれて登りました。梅池自然高原から Gondola とロープウェイを乗り継いで梅池自然園へ。自然園を抜けて白馬大池までは、大きな岩を登ったり、雪渓を歩いたり、変化に富んだ山道を登りました。白馬大池(標高2379m)は水が豊かで美しかったです。その後、小蓮華山、三国境を経て白馬岳を目指しました。

天候に恵まれた反面、日差しが強い中で登るのは大変でしたが、白馬岳山頂(標高2932m)まで頑張っ



平地で一息

て登ることが出来ました。山頂では、雄大な北アルプスを一望できました。また、山小屋では北アルプ스에沈む美しい夕日や、富山湾まで見える景色に感動をしていました。二日目は、逆コースで無事に下山をしました。日頃は見上げている白馬岳に、自分の足で一歩ずつ登ったことで大きな達成感を得るとともに、雄大な自然に触れることができました。



白馬岳山頂にて

小谷村図書館「認知症コーナー」開催について

「認知症」は特別な人起こることではありません。医療技術の向上で、平均寿命が延びるとともに、認知症になるリスクも増加傾向にあります。認知症という病気、そしてその予防法を知ること、あなたの未来は変わるかもしれません。

10月2日～10月31日の期間中、小谷村図書館内に認知症コーナーを設け、認知症に関する書籍やDVDなどをそろえています。
また、この期間の10月20日（土曜日）午前10時から視聴覚室にて映画「幸せな時間」の鑑賞会を行います。がんと認

「ハロウィンジャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボミニ」が発売されます

今年のハロウィンジャンボは、1等・前後賞合わせて5億円！

- ◎1等 3億円×9本
- ◎前後賞各 1億円×18本
- ※当せん本数は発売総額270億円・9ユニットの場合

同時発売のハロウィンジャンボミニは、1等・前後賞合わせて5,000万円！

- ◎1等 3,000万円×20本

◎前後賞各

- 1,000万円×40本
- ※当せん本数は発売総額120億円・4ユニットの場合

■発売期間

平成30年10月1日（月）から10月23日（火）まで

■抽せん日

平成30年10月30日（火）

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

知症が発覚した一組の老夫婦とその周囲の人たちの姿を見つめたドキュメンタリー。孫娘である武井綾乃さんがビデオカメラで5年間にわたって撮影し、ひとつの作品としてまとめ上げた作品です。鑑賞費は無料で申込み不要。ぜひこの機会に図書館、映画鑑賞会にお越しください。
《共催》小谷村地域包括支援センター・北アルプス認知症初期集中支援チーム

■お問い合わせ

地域包括支援センター
電話 82・3135

平成30年度 小谷村農業委員会 定例会のお知らせ

■次回の開会予定

10月19日（金）
午前9時から

■お問い合わせ

小谷村農業委員会事務局
（観光振興課農林係）
電話 82・2588

今月の納税

10月

税目 村・県民税
期別 第3期
納期限 10月31日（水）

税目 国民健康保険税
期別 第5期
納期限 10月31日（水）

税目 後期高齢者医療保険料
期別 第4期
納期限 10月31日（水）

※口座振替を指定されている方は10月25日に振替えますので、口座の残高をご確認ください。
25日の定期振替ができなかった方は11月12日に再振替をさせていただきます。